

一般質問通告書一覧 (12月8日)

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 (2 番) 川口 信 (自由民主党・ 無所属の会) 【一括質問】	1 (仮称) 医大新駅周辺のまちづくりについて	知 事
	(仮称) 医大新駅周辺のまちづくりにおいて、新駅東側に P F I 事業対象エリアを拡大することで、新たな駐車場整備等を含めた民間活力の導入を検討することとなったが、1ヶ月という短期間で方針が変わった経緯と、今後の取組について伺いたい。	
	2 未利用県有資産の活用について	知 事
	今後、県有施設の建て替えや廃止を検討する際には、併せて当該県有資産の将来的な活用方針についても、総合的に検討を進める必要があると考えるが、知事の所見を伺いたい。	
	3 部活動の地域移行について	教 育 長
	(1) 部活動の地域移行を進めるにあたり、中南和地域には地域特有の課題があると考えているが、県としてどのような支援を考えているのか。 (2) 安全管理、自己責任に関する奈良県としての統一ガイドラインに対する考え方を伺いたい。	
	4 県内における特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺への対策について	警 察 本 部 長
	特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺の被害が広がらないよう、県警察本部はどのように取り組んでいるのか。	
	5 京奈和自動車道 御所南 I C のフルランプ化について	【 要 望 】

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 (24番) 浦西 敦史 (自民党後) 【一括質問】	1 ツキノワグマ対策について (1) 令和7年10月1日に改定された「奈良県ツキノワグマ保護管理計画第6次計画」において、ゾーニング管理の方針を新たに導入されたが、具体的にどのようにゾーニングを進めようとしているのか。 (2) ツキノワグマが人の日常生活圏に出没した際、市町村が緊急銃猟制度を安全かつ円滑に運用できるよう、県として具体的にどのような支援を行っていくのか。 2 南部地域における道路整備について 「第1次国土強靱化実施中期計画」のもと、本県南部地域における道路整備の推進に向けて、どのように取り組んでいくのか。 3 交番・駐在所の最適化について 令和3年に策定された交番・駐在所最適化指針に基づく交番・駐在所の最適化について、令和4年度以降の進捗状況と今後の見通しを伺いたい。 4 へき地における医療の確保について	食 農 部 長 県土マネジメント 部 長 警 察 本 部 長 【 要 望 】

(24番)
浦西 敦史
(自民党倭)
【一括質問】

(1) 令和7年10月1日に改定された「奈良県ツキノワグマ保護管理計画第6次計画」において、ゾーニング管理の方針を新たに導入されたが、具体的にどのようにゾーニングを進めようとしているのか。

食農部長

(2) ツキノワグマが人の日常生活圏に出没した際、市町村が緊急銃猟制度を安全かつ円滑に運用できるよう、県として具体的にどのような支援を行っていくのか。

「第1次国土強靱化実施中期計画」のもと、本県南部地域における道路整備の推進に向けて、どのように取り組んでいくのか。

3 交番・駐在所の最適化について

令和３年に策定された交番・駐在所最適化指針に基づく交番・駐在所の最適化について、令和４年度以降の進捗状況と今後の見通しを伺いたい。

【 要 望 】

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 (1 番) 永田 恒 (自由民主党・ 無所属の会) 【一括質問】	1 修学旅行の誘致について 奈良市に宿泊する修学旅行生は、約20年前と比べると半分ほどに減少している。また、修学旅行といえば奈良と京都が定番のセットであるが、近年はオーバーツーリズムなどにより京都離れが進行しており、奈良県も大きな影響を受けると考えられる。県内の修学旅行生の大幅増に向け、抜本的に取り組んでいくべきと考えるがどうか。	知 事
	2 持続可能な奈良公園管理について 奈良公園周辺はオーバーツーリズムに迫る状況であるが、奈良は日帰り客が多く、宿泊や消費が多い首都圏と比べ、国のインバウンド政策の恩恵を十分受けているとは言えず、一方で、公園管理等の負担は増加している。今後、持続可能な公園管理を行うためには、奈良公園での収入確保について検討することが必要と考えるが、どうか。	知 事
	3 奈良ブランド開発について 奈良県の製造業には自社ブランドの最終製品を持たない下請け型構造という課題があるため、県は官民協働によるプラットフォームを構築し、奈良ブランドを開発してきた。その長年の取り組みが評価され、東京・銀座の百貨店「松屋銀座」に常設店舗「NARA TE I BAN」が開設されているが、本県の構造的課題克服のためにも、当該取組を一層強化すべきと考えるが、どうか。	知 事
	4 災害関連死の認定について 南海トラフ巨大地震の発生時には、より被害の大きい他県に救援物資が優先されることも想定され、奈良県で災害関連死が増える恐れがあるが、災害関連死であるかどうかを個別に判断する各市町村の審査会の設置が進んでいない。審査会の設置増加に向け、県がより積極的に関与すべきと考えるが、どうか。	福祉保険部長

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
(1 番) 永田 恒 (自由民主党・ 無所属の会)	5 救急搬送体制の充実について 南部・東部地域における山あいの地域では、道が狭隘なため救急車が入り込めない救急事案が発生しているが、こうした現場でも、安全に、そしてできる限り早く対応できる仕組みや体制をより一層整えていく必要があると考えるが、どうか。 6 認知症行方不明者の捜索について 奈良県警が取り扱う行方不明者事案のうち、認知症の疑いがある事案は34%ほどと、ここ10年で約2倍に急増している。少子高齢化が急速に進み、行方不明者の捜索を一手に県警が担う中、社会全体で早期発見できる仕組みの構築をより一層進めていくべきと考えるが、どうか。	危機管理監 警察本部長
 (6 番) 松木 秀一郎 (日本維新の 会) 【一括質問】	1 県営都市公園の魅力向上について 県では、こどもや子育て世代にやさしい公園を目指し公園機能の拡充等を進めているが、大湊池公園等の県営都市公園の魅力向上に向け、どのように県民ニーズを把握し、公園づくりに取り組んでいくのか伺いたい。 2 ツキノワグマ対策について 今年に入り、県北部においてもツキノワグマの目撃情報が相次いでいる中、地域住民の安全を確保するため、市町村や猟友会等の関係団体との連携を強化し対策に取り組むことが重要と考えるが、県としてどのように対応していくのか伺いたい。	知 事 知 事

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
(6 番) 松木 秀一郎 (日本維新の 会)	3 部活動の地域移行について 来年4月から部活動を地域移行するにあたり、保護者から、活動場所や指導者等の確保、経済的な負担についての不安の声や、県と市町村との更なる連携強化を望む声を聞いているが、保護者の不安を払拭するため、県としてどのように取り組んでいくのか伺いたい。 4 けいはんな学研都市と連携した産業政策について 5 なにわ筋線開業後の県広域ネットワークについて	教 育 長 【 要 望 】 【 要 望 】